

東金の伝統のお祭り

提供学科：国際人文学科

◎ 目的

本プロジェクトは、参加学生ひとりひとりが、異なる背景を持つ多様な人材として、企業や住民などの地域の方と協働し、地域に沈潜しているさまざまな価値の発掘、磨き上げや課題の解決に学生が主体的に取り組むことを目的とします。また、東金市で古くから行われている祭りや伝統芸能について、その歴史や成りたち、意味合いなどを実際に関わっている人々から聞き、それらが地域にどのように根付いているのかを理解します。そして、実際に祭事に参加することにより、地域への貢献に繋げることができればと考えます。



◎ 実施内容

- ・千葉県とりわけ東金とその周辺地域の歴史（とくに鎌倉期から江戸期における地域共同体の形成と将軍家との関わりなど）を学習
- ・岩崎区のお囃子「い若会」のお稽古を見学し、お囃子曲目の来歴について学習
- ・日吉神社訪問（宮司様の講和を聴いたのち、境内の杉大木や摂社を見学）
- ・岩崎区菅原神社祭礼の宵宮（水風船の用意とゲーム運営）と神輿巡行（大人神輿の担ぎ手）に参加
- ・地域の伝統文化継承の課題について議論を実施

地域 × 城国生

◎ 学びの効果

本授業では、千葉県、とりわけ、東金市とその周辺地域の歴史を学び、この地域の伝統文化の諸相を理解します。その学びを持って、本年度は、学部・学科・出身国・学年の違いを越えて参加学生たちが議論しました。その結果、学生と地域の人々との交流・相互理解が進みました。

また、日吉神社の宮司様からは、神社の歴史と現状についての話も聞き、コミュニティーに根差した信仰に接することもできました。そのおかげで、菅原神社祭礼の宵宮と神輿巡行に参加した際には、地域の活力を感じるとともに、将来にわたり伝統的祭礼を継続するための課題を探ることができました。